

第15回公開講座 社会運動史関連講座(1)(2)

とくしま社会運動資料センター(以下、資料センター)は、徳島県労働福祉会館の公益目的事業として2014年10月にスタートしました。以降、「賀川豊彦と協同組合主義」を皮切りに、「輝いた阿波の女性たち」、「森永ひ素ミルク中毒事件」、「阿南原発建設阻止」や、ハンセン病問題を考える「大島青松園視察研修」、鳴門教育大教授セクハラ事件を中心とした「セクハラ問題について考える」など、多数の公開講座を開催し、併せて『賀川豊彦と社会運動』や『阿南出身の作家・北條民雄さんとハンセン病問題の今』などのパネル展も開催してきました。

2017年6月からは、解放同盟徳島県連や徳島解放研究所から寄贈された約五千点の資料を基に研究者の協力を得て「部落史に関する協議」を進めてきました。この度、部落史年表(前近代編・近代編)の素案ができましたので、部落史関連の連続講座を開催する運びとなりました。

第1回目となる部落史関連講座(1)を3月16日に開催し、徳島県立博物館副館長の長谷川賢二さんによる「徳島の部落史研究・前近代編」と題した講座、国際日本文化研究センター客員准教授の吉村智博さんによる「近現代部落史研究の現在」と題した講座を開催しました。さらには6月1日には部落史関連講座(3)として、芝原生活文化研究所の辻本一英さんを講師に迎え、「徳島の被差別民と芸能文化—阿波の箱まわしを中心に—」と題した講座、9月7日には部落史関連講座(2)として四国大学の関口寛さんによる「徳島から見た近代の部落史研究」講座と当センター運営委員の中野輝行さんによる調査報告を行いました。

そして今回は下記の通り、当センター代表運営委員である久積育郎さんと県立図書館の生駒佳也さんによる社会運動史関連講座(1)(2)を開催します。

日 時	2019年11月16日(土) 10:00~12:00
場 所	ヒューマンわーくびあ徳島5Fホール [徳島市昭和町3丁目35-1]
内 容	社会運動史関連講座(1)(2) 「徳島における戦後社会運動の特徴」 久積 育郎 氏 (資料センター) 「徳島における戦後の教職員運動」 生駒 佳也 氏 (徳島県立図書館)
対 象	一般の方どなたでも可。参加無料。



写真: 部落史関連講座(1)(2)(3)の様子

●お申し込み・お問い合わせ●

とくしま社会運動資料センター事務局 (運営: 一般社団法人徳島県労働福祉会館)
〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1 ヒューマンわーくびあ徳島2F
TEL 088-602-0532/FAX 088-625-5005
Eメール roukan@workpia-tokushima.jp
ホームページ http://workpia-tokushima.jp